## 届出書の記載例

① 伐採方法が皆伐であって、伐採後の造林の計画が人工造林の場合

伐採及び伐採後の造林の届出書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成24年10月１日

　　　身延町長　殿

伐採の始期の30～90日前であり、適正。

住　所　　　　身延町○○１－２－３

届出人　氏名　森林　太郎 　 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載する。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| 身延町○○　地番1234-1番地，1234-2番地 |

全ての地番の合計面積を記載する。

２　伐採の計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 2.00ha | | |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | スギ | | |
| 伐採齢 | 50 | | |
| 伐採の期間 | 平成24年11月15日～平成25年３月15日 | | |

主伐に係る伐採面積と一致しており、適正。

３　伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | 2.00ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | 2.00ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | 2.00ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | | － ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | － ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | | 平成25年4月1日～  平成25年5月31日 | ヒノキ | 1.00ha | 3,000本 |
| スギ | 1.00ha | 3,000本 |
| 天然更新  （ぼう芽更新・天然下種更新） | | － | 伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して２年以内となっているため、適正。 |  |  |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | － | － | － | － |

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
| － |

希望する場合は記載する。

４　備考

|  |
| --- |
| ○○国立公園普通地域  適合通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。

３　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

４　森林の所在場所ごとに記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

７　伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

８　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

９　伐採の期間が１年を超える場合においては、２の伐採の計画を年次別に記載すること。

10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

11　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

12　天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。

13　造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

14　樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

15　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。

16　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

伐採及び伐採後の造林の届出書

② 伐採方法が皆伐であって、伐採後の造林の計画が天然更新の場合

伐採の始期の30～90日前であり、適正。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成24年９月15日

　　　身延町長　殿

住　所　　　　身延町□□１２３

届出人　氏名　○○林業

伐採する者と伐採後の造林をする者が異なる場合は、連名で届け出る。

伐採する者（立木を買い受けて伐採する者等）

代表取締役　林野次郎　印

住　所　　　　身延町○○１－２－３

伐採後の造林をする者（森林所有者）

届出人　氏名　森林　太郎　　　　　　印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載する。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| 身延町○○　地番1234-1番地，1234-2番地 |

伐採の期間が1年を超える場合は、年次別に記載する。

全ての地番の合計面積を記載する。

２　伐採の計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 3.30ha（うち平成24年度2.20ha，平成25年度1.10ha） | | |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | クヌギ、その他広葉樹 | | |
| 伐採齢 | 45（35～50） | | |
| 伐採の期間 | 平成24年11月1日～平成25年12月31日 | | |

主伐に係る伐採面積と一致しており適正。

３　伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | 3.30ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | － ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | － ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | | － ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | 3.30ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | 2.20ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　芽かき　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | 1.10ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | | － | － | －　ha | －　本 |
| 天然更新  （ぼう芽更新・天然下種更新） | | 平成26年4月1日～  平成31年3月31日 | クヌギ | 2.20ha |  |
| その他広葉樹 | 1.10ha |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | 平成31年4月1日～  平成32年3月31日 | その他広葉樹  天然更新すべき立木の本数に面積を乗じて得た本数を記載する。  （例）3,000本/ha×3.30ha = 9,900本  ５年後において適確な更新が完了していない場合は、当該本数に足らざる本数を植栽することとなる。  ５年後の天然更新の完了の見込みに関係なく天然更新を計画する全面積を記載する。 | 3.30ha | 9,900本 |

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して５年を超えない期間となっているため、適正。

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して７年を超えない期間となっており、かつ植栽が計画されているため、適正。

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
| － |

４　備考

|  |
| --- |
| 適合通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。

３　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

４　森林の所在場所ごとに記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

７　伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

８　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

９　伐採の期間が１年を超える場合においては、２の伐採の計画を年次別に記載すること。

10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

11　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

12　天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。

13　造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

14　樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

15　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。

16　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

伐採及び伐採後の造林の届出書

③ 伐採方法が択伐の場合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成24年10月１日

　　　身延町長　殿

伐採の始期の30～90日前であり、適正。

住　所　　　　○○市○○町１－２－３

届出人　氏名　森林　太郎 　 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載する。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| 身延町○○　地番1234-1番地，1234-2番地 |

市町村森林整備計画に定める立木の伐採（主伐（択伐））の標準的な方法に照らして適正な伐採率となっているか？

全ての地番の合計面積を記載する。

２　伐採の計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 2.00ha | | |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | 40％ |
| 伐採樹種 | ヒノキ | | |
| 伐採齢 | 60 | | |
| 伐採の期間 | 平成24年11月1日～平成25年3月15日 | | |

主伐に係る伐採面積と一致しており適正。

３　伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | 2.00ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | 2.00ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | 2.00ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | | － ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | － ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　芽かき　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | | 平成25年4月1日～  平成25年5月31日 | ヒノキ | 2.00ha | 1,500本 |
| 天然更新  （ぼう芽更新・天然下種更新） | | － | －  伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して５年以内となっているため、適正。 | －　ha |  |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | － | － | －　ha | －　本 |

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
| － |

４　備考

|  |
| --- |
| 適合通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。

３　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

４　森林の所在場所ごとに記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

７　伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

８　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

９　伐採の期間が１年を超える場合においては、２の伐採の計画を年次別に記載すること。

10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

11　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

12　天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。

13　造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

14　樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

15　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。

16　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

伐採及び伐採後の造林の届出書

④ 伐採方法が間伐の場合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成24年10月１日

　　　身延町長　殿

伐採の始期の30～90日前であり、適正。

住　所　　　　○○市○○町１－２－３

届出人　氏名　森林　太郎 　 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

伐採箇所が複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載する。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| 身延町○○　地番1234-1番地，1234-2番地 |

全ての地番の合計面積を記載する。

２　伐採の計画

伐採齢及び市町村森林整備計画に定める間伐の標準的な方法に照らして適正な伐採率となっているか？

（伐採後の造林が必要となるような、過大な伐採率となっていないことを確認）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 2.00ha | | |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | 30％ |
| 伐採樹種 | ヒノキ | | |
| 伐採齢 | 35 | | |
| 伐採の期間 | 平成24年11月15日～平成25年3月15日 | | |

間伐は更新を伴わない伐採であるため、伐採後の造林の計画は不要。

３　伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | －　ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | － ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | － ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | | － ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | － ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 間伐は更新を伴わない伐採であるため、伐採後の造林の計画は不要。 | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | | － | － | －　ha | －　本 |
| 天然更新  （ぼう芽更新・天然下種更新） | | － | － | － |  |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | － | － | － | － |

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
| － |

希望する場合は記載する。

４　備考

|  |
| --- |
| 適合通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。

３　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

４　森林の所在場所ごとに記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

７　伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

８　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

９　伐採の期間が１年を超える場合においては、２の伐採の計画を年次別に記載すること。

10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

11　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

12　天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。

13　造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

14　樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

15　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。

16　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

伐採及び伐採後の造林の届出書

伐採面積が１ha以下であり、適正。

⑤ 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 平成24年10月１日

　　　身延町長　殿

伐採の始期の30～90日前であり、適正。

住　所　　　　○○市○○町１－２－３

届出人　氏名　森林　太郎 　 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の８第１項の規定により届け出ます。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| 身延町○○　地番1234-1番地 |

２　伐採の計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 伐採面積 | 0.50ha | | |
| 伐採方法 | 主伐（皆伐・択伐）・間伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | スギ | | |
| 伐採齢 | 60 | | |
| 伐採の期間 | 平成24年11月15日～平成25年3月31日 | | |

伐採後において森林以外の用途に供されることとなるため、伐採後の造林の計画は不要。

３　伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ） | | | | －　ha |
|  | 人工造林による面積（Ａ＋Ｂ） | | | － ha |
|  | 植栽による面積（Ａ） | | － ha |
| 人工播種による面積（Ｂ） | | － ha |
| 天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ） | | | － ha |
|  | ぼう芽更新による面積（Ｃ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　 ）・なし |
| 天然下種更新による面積（Ｄ） | | － ha |
|  | 天然更新補助作業の有無 | 地表処理・刈出し・植込み・  その他（ 　　）・なし |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 伐採後において森林以外の用途に供されることとなるため、「５年後において適確な更新がなされない場合」欄以外は記載不要。 | | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の  造林面積 | 樹種別の  植栽本数 |
| 人工造林  （植栽・人工播種） | | － | － | －　ha | －　本 |
| 天然更新  （ぼう芽更新・天然下種更新） | | － | － | － |  |
|  | ５年後において適確な更新がなされない場合 | 平成30年4月1日～  平成31年3月31日 | スギ | 0.50ha | 1,500本 |

伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して５年を経過した日において(3)の用途に供されていない場合には、その時点から２年以内に森林に復旧する旨の造林の計画を記載する。

（ただし、５年以内に転用した場合は、造林の計画の履行は要しない。）

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
| --- |
| 宅地造成 |

森林以外の用途への転用の場合は確認通知書を発出する。

４　備考

|  |
| --- |
| 適合通知書等の希望の有無（ 有・無 ） |

注意事項

１　伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。

３　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

４　森林の所在場所ごとに記載すること。

５　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

６　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

７　伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

８　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。

９　伐採の期間が１年を超える場合においては、２の伐採の計画を年次別に記載すること。

10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

11　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

12　天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。

13　造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

14　樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

15　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。

16　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。